

2023年度が始まりました！

学校体育研究同志会愛知支部

11月例会



テーマ

「教師が教材をつくる意味・おもしろさ」

報告者 成瀬 徹 (NPO法人体育とスポーツの図書館)

子どもが面白くて食いつく授業の背景には必ずこだわりを持った深い教材研究があります。授業を構想しようとする際に、教材づくりは授業づくりの心臓部になります。子どもたちに何を学ばせようか(教科内容)を考え、素材(運動文化)を吟味しながら子どもたちがどんな反応をするのかワクワクしながら教材をつくっていく、まさに教材づくりは教師にとって面白くて醍醐味を感じることができる仕事なのです。その教師の個性と専門性が発揮されるのが教材づくりです。

今回の例会の報告者である成瀬さんは、50年にわたって運動文化(スポーツ)の世界を紐解きながら、子どもたちに突き刺さるユニークな教材や体育授業を数多く創り続けてきた個性豊かな体育教師です。成瀬さんの教材づくりや体育授業づくりの「引き出し」の中にはたくさんの宝があります。今回の例会はその宝を探す例会です。体育の授業づくりがしたい先生、体育で悩んでいる先生、是非宝探しに来てください！

日時

R5年**11月18日(土)** 13:30~16:30

※ 例会のはじめに、書籍や新聞記事などを用いた学習会を予定しています。



会場

日本福祉大学

名古屋キャンパス 北館7B

名古屋市中区千代田5丁目2-35

例会後は、会場近くの居酒屋で
交流会を行います！



申し込みは
こちらから

【問い合わせ先】

伊藤嘉人 (愛知支部研究局)
itoyoshi@n-hukushi.ac.jp